

# 東京六華同窓会

(旧)在京札中同窓会

(題字制作：南8期 田村功)

## 東京六華同窓会 ウェブ版会報の公開に当たって

これまで東京六華同窓会の会報は、当会に会費を納めた会員のみを送付されてきました。しかし今般、同窓会としての持続可能性等を考慮し、札幌の「六華同窓会」と同様、札幌第一中学校、札幌第一高等学校、札幌南高等学校の卒業生はすべて会員となる形への変更が事実上決定され、それを契機に会報(誌)の郵送を会報第134号(2023年12月発行)を最後に廃止し、以後は当会ホームページにおける公開の形を取ることとなりました。



東京六華同窓会の公式ホームページより

これによって個人情報保護の観点から、従来

なりませんが、同窓生の活躍や母校の様子など、支障のない範囲で可能な限り情報を発信していきたいと思えます。

現在、新しいホームページの運用が始まったばかりで、会報に関してもPDFでの掲載という、はなはだ簡易的なレベルにとどまるところですが、今後、段階的にグレードアップを図っていかうと考えています。

ご覧の会員の皆さまにも、ホームページのinfoなどを通じて、興味深い話題を当会にご提供くださるようお願いいたします。

2024年5月1日

東京六華同窓会事務局  
広報委員会

東京六華同窓会会報(通算)第135号  
2024年5月17日発行

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目2番15号  
浜松町ダイヤビル2F

東京六華同窓会 広報委員会

デザイン・制作/  
(株)メディアクリエイションズ

## 2024年「東京六華同窓会 総会・懇親会」のお知らせ

東京六華同窓会会長 片山晶彦(南23期)

今年度の東京六華同窓会総会・懇親会を下記の日程で開催いたします。

総会・懇親会の当番期は南40期・50期・60期です。

同期、同窓の方をお誘いの上、奮ってご参加ください。

今回は完全対面開催です(中継映像配信は検討中)。

《日時》2024年6月8日(土) 総会 15時~/懇親会 16時~

《会場》ベルサール半蔵門 東京都千代田区麹町1-6-4 住友不動産半蔵門駅前ビル2F  
東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」3b出口直結、有楽町線「麹町駅」3番出口徒歩5分

《会費》

南19期まで7,000円、南20~49期10,000円、南50~69期7,000円、南70期以降3,000円  
※SNSからのお申し込みに関しては500円割引となります。

【ご出欠】会報134号を郵送した南19期までの方には案内状と出欠葉書を同封していますので、葉書のご返送、あるいは東京六華同窓会ホームページ内の総会・懇親会ウェブサイトよりお申し込みください。それ以外の方はウェブサイトでのみ受け付けます。いずれも事前申し込みのみでの受け付けとしますのでご注意ください。

# 通常開催の意義を実感 東京六華同窓会 2024年「新春の集い」開催

新型コロナウイルス感染症「2類相当」でのチャレンジ開催だった前回に続く、ほぼ例年並みのイベント規模で、2024年「新春の集い」が1月20日(土)にアルカディア市ヶ谷(私学会館)5階「大雪」にて開催された。参加人数を絞ることなく、着席スペースも増え、マスク着用は任意となる本年の「新春の集い」の参加者は63人(南13期～南64期)。昨年の56人から7人増え、会場のそこかしこで怪気炎を上げる当たり前の歓談模様が繰り広げられた。

乾杯の音頭は最高齢参加者の益子徹さん(南13期)。東京六華同窓会会長の片山晶彦さん(南23期)のあいさつでは、昨年の「新春の集い」を皮切りに、東京(6月)・札幌(10月)と続く総会・懇親会を含む年間行事が滞りなく開催されたことに言及。昨年5月8日の「5類」移行から半年以上が過ぎ、集まった同窓にも安堵の表情がうかがえた。

また、1月2日(火)に羽田空港で起きた日本航空516便(新千歳発羽田行き)と海上保安庁航空機の衝突事故から生還した今井康人さん(南28期)も急きょ登壇。生命の危機的状態における三つの心得や具体的な補償金額など、メディアでは到底知り得ない内実は出席者限定の知見である。

宴の締めは、幹事長の福山賛次郎さん(南23期)の円熟味を帯びた「今年の干支」トーク。24年の「甲辰」にちなんで、「60年前は東京オリンピック、120年前は日露戦争の年が甲辰の年でした。東京六華同窓会も未来プロジェクトの提言が実を結び、力強く、前に進む年にしましょう」と締めくくり、無事お開きに。片付け時に参加者名簿を見ると、初代東京五輪を実体験として知る同窓が半数近くに上る。通常開催の意義を改めて実感しつつ、同窓の変わらぬ健康を願う、そんな24年の「新春の集い」だった。



東京六華同窓会は1905年創設 地元の札幌よりも10年早いのだ



歓談風景「新春の集い」はおなじみのアルカディア市ヶ谷(私学会館)5階「大雪」にて

(広報委員会 南43期 北條貴文)

# 「新春の集い」に初参加して

～コミュニティー抜きに自己紹介はできない～

南 57 期 吉田篤史

東京六華同窓会の成り立ちが、1900年代であることを皆さんはご存知だろうか。私自身も2023年11月に都内で開かれた就職相談会に相談員として参加して初めて知った。上京してきた札幌出身者同士、助け合い、切磋琢磨していこうという趣旨で、札幌の「六華同窓会」よりも先に立ち上がり、既に120年弱の歴史があるそうだ。そして、この「新春の集い」も毎年1月に開催されているということも、同じように就職相談会で知り、初めて参加した。

これまでは年1回、東京六華同窓会に参加するだけだったが、数カ月ごとに集まる機会があるおかげで、顔見知りとなって話せる人も少しずつ増え、新たな気付きや出会いが生まれる。こういったコミュニティーに参加する楽しさを実感する。こうしたことを長年実施している高校というのはなかなかないのではないだろうか。

一方でどんなコミュニティーにも共通する課題は、若手の参加が少ないことだと思う。20～30代は仕事の忙しさだけでなく、転職、結婚、出産といったライフステージの変化も激しい世代であり、コミュニティーへの参加の優先度が下がることは否めない。

しかし、札幌南高校という多様な個性が尊重される高校で育まれた感覚がベースにある中で、大人になってからも多種多様な取り組みをされている方々との交流ができるのは、六華同窓会・東京六華同窓会ならではの



(左から) 10月19日(土)に札幌で開催される「2024 六華同窓会 総会・懇親会」の幹事期アピールを札幌在住の同期より急ぎ頼まれ「新春の集い」に1人で参加した福光篤史さん(南49期)と、深作のり子さん(南42期)、北條貴文さん(南43期)、ビジネスシーンとは毛色が違う諸先輩との名刺交換に武者震いが止まらない吉田さん



乾杯の音頭を執る最高齢参加者の益子徹さん(南13期)と若者の吉田(南57期/背中)は44歳差

だろうか。「意識の高い」人が集まるとされるどんな異業種交流会よりも質が高いといっても言い過ぎではないように思う。

成り立ちの経緯に立ち返れば、この同窓会は働き盛りの若手にこそ必要なコミュニティーではないかを感じる。そういう意味では、例えば「青年部会」や「経済人クラブ」といったビジネスに特化した部門でもあれば、より面白いのではなかろうか。もちろんビジネス交流会の類とも異なる団体であるから、「和を以て貴しとなす」といった感覚も重要である。

コロナ禍で一時的にいろいろな活動を縮小せざるを得ない空白期間ができたとはいえ、札幌南高校にいたという事実は変わらない。先輩方が築き、綿々と続けてきた六華同窓会というコミュニティーに自動的に所属できている有難さを再度認識しつつ、この時代でのコミュニティーの在り方やニーズをくみ取った新しい活動というのも検討してもよいのではないだろうか。そんな気付きを得た「新春の集い」だった。

# 6月8日(土)は東京六華同窓会 総会・懇親会へ!

2024年東京六華同窓会総会・懇親会  
実行委員長 神田賢 (南40期)

会報134号でお伝えした通り、今年は6月8日(土)に東京・千代田区の「ベルサール半蔵門」を会場に総会・懇親会を開催いたします。東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」直結で、お足元を気にせずに駅から迷わずご来場いただけます。



会場となる東京・千代田区の「ベルサール半蔵門」

また、できるだけ多くの皆さんに来てもらえるよう、広めの会場を選定しました。

今年のテーマは「六華のチカラ」としました。「力」「知から」「地から」という三つの意味を込め、当日は世代や分野を超えた交流ができるような会にしたいと思います。

今回、実行委員会で行っている取り組みについて、幾つかご紹介します。

まず会費の割引制度です。「早割」は少しでも皆さんの負担と受け付け時期の集中を軽減したいという思いから導入しました。早めの準備が必要でしたが、早割締め切りの駆け込みもあり、3月末時点で既に150人ほどの申し込みをいただいています。

そして「SNS割(インスタ割)」は、インスタグラムの利用者が多い若い世代の参加を促そうという狙いです。SNSが不得手な方には恐縮ながら、若い世代を増やしていくことが、ひいては同窓会全体を活性化していくことにもなると考えました。これによって同窓会は懐かしい旧友と会う場のみならず、上下のつながりや新しい出会いの場にもなると思います。これを後押しするために、インスタグラムやホームページを活用して、参加される皆さんのご紹介を事前に行おうと考えています。

さらに当日も幅広い方々との交流ができたり、初めて参加される方も楽しんだりできる企画を準備しています。

懇親会では、何はともあれ飲食が楽しみの一つであると思います。南40期の中でもかなり舌の肥えた担当が料理を検討しており、さらに減多に飲めない美味しいお酒の数々を持参して提供する予定です。ただし、これらは量に限りもございますので、事前にホームページやインスタグラムの情報をお見逃しのないようお願いします。

そして当日の企画イベントとして、2人のミュージシャン、南48期の東海林美乃梨さんと南58期の山木将平さんのスペシャルコラボライブを実施します。なお、既に2人の対談を実施しており、その様子は当日配布のプログラム冊子に掲載します。楽しみにしててください。

こうしたプログラム冊子作りや、広告・協賛募集の活動などを通して、同窓会が皆さんのご協力の上に成り立っていることを改めて実感しています。

6月8日、ベルサール半蔵門で皆さんのご来場を心よりお待ちしております!



実行委員長を務める神田さん(南40期)



テーマの「六華のチカラ」を表現したシンボルマーク



懇親会で振る舞われる銘柄(一部) ウィスキー厚岸はかなりのレア酒だ

# 2024六華同窓会 総会・懇親会のお知らせ

実行委員長 廣部修平 (南49期)

2024年10月19日(土)、札幌パークホテルで開催される2024六華同窓会 総会・懇親会の実行委員長を務めます、南49期の廣部修平と申します。東京六華同窓会会報での六華同窓会の開催告知について心より感謝申し上げますとともに、途切れることなく続く同窓会活動を支えてくださっているすべての皆さんに深く感謝申し上げます。

今年のテーマは「架けよう。六華大橋!」です。卒業後、それぞれの分野で成長し活躍する同窓生たちが力を合わせて未来に進む様子を橋に例え、同窓生たちが同期や先輩・後輩との架け橋となり、同窓会を通じてまたみんなに会いたいと思える活動にしていきたい、そしてこの活動を未来へ・次世代へとつなげたいという想いを込めてました。



実行委員長を務める廣部さん  
(南49期)



南49期の同期の皆さん。10月19日(土)  
札幌パークホテルで会いましょう!

現在私たち南49期一同はこの活動テーマの下、各関係事業の準備に着手しているところです。同窓会活動を通じて25年ぶりに再会する仲間も多く、幹事期の活動を楽しみながら同窓会活動の意義を感じております。

24年6月8日(土)に開催される2024東京六華同窓会 総会・懇親会には、私たち南49期も参加させていただき、東京と札幌との間に「六華大橋」を架けます。今年の東京六華同窓会のテーマは「六華のチカラ」です。6月に集結した六華の「力」と「知から」を、10月には東京の地から六華大橋を渡って札幌に届けていただけるようお願い申し上げます。

最後になりますが、私たちの母校北海道札幌南高等学校と東京六華同窓会のますますの発展、6月に開催されます東京六華同窓会の総会・懇親会の成功、六華同窓生皆さんのご健勝を祈念し、また私たち南49期の活動に対してご指導ご協力をいただけますようお願い申し上げます、実行委員会を代表してのごあいさつといたします。

## ハイブリッド開催で帰ってきた！ 第127回「六華サロン」が復活

かつて東京・九段下（千代田区）にあった東京六華同窓会事務所を会場にカジュアルな意見交流と学びの場として 2008 年 10 月 24 日にスタートし、20 年 2 月 20 日の第 126 回を最後に開催がストップしていた「六華サロン」がついに復活。『戦時下のウクライナを歩く』（光文社新書）の著者で元朝日新聞記者のジャーナリスト、岡野直さん（おかのただし／南 28 期）をゲストスピーカーとして、2 月 29 日（木）19 時より京橋図書館中央区併設「本の森ちゅうおう」多目的ホールにて開催された。



第127回「六華サロン」風景

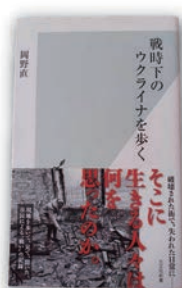
サロンのテーマは著書と同じ「戦時下のウクライナを歩く」。この第 127 回「六華サロン」は、リアル会場と zoom 配信を同時進行させる初のハイブリッド形式で行われた。リアル参加者の入場料 500 円は今までを踏襲し、オンラインは無料。参加者は現地が 20 人、オンライン申し込みが 28 人。90 分の登壇トーク後に近場で催された懇親（飲み）会にも岡野さんを含む 17 人の参加があり、大いに盛り上がった。

かつてのサロンが休催となった理由は、コロナ禍における密回避など諸般の事情はあるものの、東京六華同窓会会員数の減少に伴う運営資金減による事務局の閉鎖（2021年3月末）が大きい。

復活の「六華サロン」立ち上げ人である田部知江子さん（南 39 期）は、自身も六華サロンに感銘を受けた同窓の 1 人だ。「登壇者の確保が鍵となる。自薦・他薦、問わない。事務局まで連絡をお願いします」と田部さん。復活後 2 回目となる第 128 回「六華サロン」は 5 月 28 日（火）に同会場で予定。ゲストスピーカーは、上鹿渡和宏さん（かみかどかずひろ／南 40 期）で、『『こどものために』で終わらせず、『こどもとともに』へ繋げる～社会的養護の現場から、こどもに必要なことを考える』をテーマに開催される。



スピーカーの岡野さん  
（南 28 期）



『戦時下のウクライナを歩く』  
（光文社新書）

詳細は、東京六華同窓会ホームページに掲載する。出席者たちの生真面目な表情に高校時代を思い出す。広く問題意識を持ち、プロの英知と他者の意見に耳を傾け、知識や主義、主張を穏やかに刷新していく六華同窓の「授業態度」は「六華サロン」にも根付いている。

（広報委員会 南 43 期 北條貴文）

### 編集後記

広報委員長

今井康人（南 28 期）

今回この会報をウェブ上での公表とするに当たり、当会ホームページの全面リニューアルを並行して行いました。そのため、その担当である西田修司総務委員長（南 27 期）と連携しつつ、出版社で男性誌のウェブマガジン編集に携わる北條貴文広報委員（南 43 期）が中心となって、やや予定より遅くなってしまったものの、公表にこぎ着けました。これによって、より多くの同窓生が閲覧できるようになりましたが、その反面、同窓生以外の方も見る事ができるため、従来のようにクローズな環境を前提とした記事や情

報の掲載は原則として難しくなります。例えばイベントへの参加者名簿や写真など、個人情報に関連するような内容です。一方でウェブ版の特性を生かし、紙ではできなかった発信を今後積極的に展開していきたいと考えているところです。それを実現するためにも、特に若い卒業期の同窓生の皆さんには、広報委員あるいは協力スタッフとして、ぜひともご参加いただきたいと切にお願いする次第です。こちらの東京六華同窓会メールアドレス（info@tokyoirikkajp）までご連絡をお願いいたします。